

## 会 議 録

会議の名称		令和7年度第1回春日部市観光振興審議会		
開催日時		令和7年7月30日(水)	開 会	午後 2時00分
			閉 会	午後 3時15分
開催場所		市役所本庁舎2階 203会議室		
議長(会長等)氏名		小沢 智樹		
出 席 者	委員氏名	(出席人数：5人) 小沢 智樹、望月 康紀、中田 久美子、小川 志朗、段 暁明		
	説明者 その他			
席 者	事 務 局	(出席人数：7人)		
		環境経済部長 齋藤 綱紀		
		環境経済部参事兼観光振興課長 添田 智則		
		観光振興担当主幹 四方田 和宏、観光振興担当主査 金子 康二		
		観光振興担当主査 太田 宙、観光振興担当主事 橋本 裕希、 観光振興担当主事 石川 直弥		
次第及び公開、一部公開、非公開の区分		1 開 会		
		2 挨拶		
		3 委員紹介		
		4 事務局紹介		
		5 議 題		
		(1) 令和6年度事業報告について		
		(2) 令和7年度事業概要について		
(3) 大凧文化交流センターのKPI達成状況等について				
一部公開・非公開の場合はその理由		6 その他		
		7 閉 会		
		<input type="checkbox"/> 要綱第3条第1号該当：		
		<input type="checkbox"/> 要綱第3条第2号該当：		
配布資料		<input type="checkbox"/> 要綱第3条第3号該当：		
		<input type="checkbox"/> 要綱第3条第4号該当：		
		・資料1 令和6年度 事業報告		
		・資料2 令和7年度 事業概要		
会議録の作製方法		・資料3 大凧文化交流センターのKPI達成状況等について		
		・参考資料 春日部市の観光客数について		
		<input type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した全文記録		
		<input checked="" type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した要点記録		
		<input type="checkbox"/> 要点記録		

会議録署名の指定	会長による署名
----------	---------

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
	<p>【1 開 会】</p> <p>【2 挨拶】</p>
事務局	<p>【3 委員紹介】</p> <p>《諸事情により公募委員が辞任された旨報告》</p> <p>《残任期間を務める公募委員の募集をかける旨報告》</p>
事務局	<p>【4 事務局紹介】</p> <p>《春日部市観光振興審議会条例第6条第2項による会議開催要件の成立報告》</p> <p>《本会議の審議事項すべてを公開する旨報告》</p> <p>《傍聴者なしの旨報告》</p>
議 長	<p>【5 議題】</p> <p>議題（1）「令和6年度事業報告について」及び議題（2）「令和7年度事業概要について」ですが、関連がございますので、一括して事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>事務局より資料1・2について説明させていただきます。</p> <p>《資料1 令和6年度事業報告についての説明》</p> <p>《資料2 令和7年度事業概要についての説明》</p>
議 長	<p>ただいま事務局より説明がありました内容について、ご質問、ご意見がありましたら、お願いいたします。</p>
委 員	<p>観光振興施策に取り組まれています。観光客数や消費単価等の数字的な効果についても研究すると、改善策が出しやすいと思います。</p>
委 員	<p>令和7年度の計画で多言語のパンフレットを作成するとありますが、紙媒体で作成しますか。あるいは、インターネットに掲載しますか。</p>
事務局	<p>紙媒体を作成したうえで、市公式ホームページにPDFを掲載し、二次元コードから閲覧できるようにします。参考ですが、春日部</p>

	<p>市観光協会が発行している「るるぶ」についても、観光協会のホームページで閲覧可能です。</p>
<p>委員</p>	<p>令和6年度にはSNSの講座を開かれましたが、講座とあわせて市公式ホームページやソーシャルネットワークのサービス等と連携して、相乗効果が得られる取組を発展させるといいかと思いません。</p>
<p>委員</p>	<p>作成するパンフレットの言語ですが、英語・韓国語・繁体字・簡体字に翻訳した理由はありますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>まず日本語をベースに作成したうえで、英語に翻訳しました。その他の国につきましては、昨年度、春日部市観光協会で来館者500人にアンケートをとった際に、中国、韓国、台湾の観光客が多かったことから、繁体字・簡体字・韓国語のパンフレットを作成しました。</p>
<p>委員</p>	<p>観光客ではない、市内に住んでいる外国人にはベトナム出身の方が多く、また春日部市役所ではベトナムの外国人職員がいるかと思しますので、ベトナム語の翻訳を増やしても良いのではないかと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>春日部市内の留学生等にもベトナムの方が多いので、ベトナム語への翻訳も検討していきます。</p>
<p>委員</p>	<p>資料には記載されていませんが、昨年度、共栄大学のゼミで東武鉄道株式会社と協力して、春日部駅と北春日部駅でこども向けのイベントを開催しました。今後も市や企業と連携したいと考えていますので、どなたかご存じであれば、どのような影響があったかお聞きしたいです。</p>
<p>事務局</p>	<p>申し訳ありませんが、事務局では把握していません。 ですが、南栗橋駅の車庫で行われたファンフェスタに参加された方からお話を伺ったことはあります。北春日部駅等で特定のファンの方に向けて何かできればという考えはありますが、企業との連携が必要だと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>たくさんの小さな案件があることをつい最近知ったのですが、横のつながりで市にもその情報が入り、どのように発展させるか、継続するか等、情報交換ができるといいと思います。観光振興審議会でも、次年度にどのようなイベントを開催するのか、方向性</p>

事務局	<p>だけでもお伺いできれば、より次につなげやすくなると思うので、把握していただけるとありがたいです。</p> <p>横のつながりとしては、日光街道の六宿がある市町で連携しており、双方の住民が行き来する効果や集客の効果が期待できると考えています。栃木市や鹿沼市とも15年以上、地域間交流都市として交流しており、今年9月に鹿沼市の方がバスで首都圏外郭放水路に見学に来るといった話もあります。今後とも横のつながりを大事にしたいと考えています。</p>
委員	<p>参考になるかと思うのですが、埼玉県志木市で東武鉄道株式会社が獨協大学やMARUIと協力して、志木フェスティバルの一環としてイベントをやります。志木市の小学生に旅行商品の作り方をレクチャーして、姉妹都市である山梨県富士吉田市に向かうツアーを作成し、志木市民の方に参加してもらおうというイベントです。春日部市も、共栄大学や鹿沼市と協力すれば可能かと思えます。</p>
委員	<p>共栄大学で2年に1度担当する講義があるのですが、産学連携として様々なイベントを開催しています。昨年度はLGBTのカップルの結婚式をやりました。今度は地域でもイベントができればと考えていますので、東武鉄道株式会社に協力いただきたいですし、春日部市からも協力いただける企業のご紹介等で連携させていただけるとありがたいです。</p>
議長	<p>その他、意見がないようですので、議題（1）及び（2）の議事につきましては終了とさせていただきます。</p> <p>続きまして、議題（3）「大夙文化交流センターのKPI達成状況等について」、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>事務局より資料3について説明させていただきます。      ≪資料3 大夙文化交流センターKPI達成状況等について≫</p>
議長	<p>ただいまご説明いただきました内容について、ご意見がある方はいらっしゃいますか。</p>
委員	<p>大夙文化交流センターの開設目的は、文化・歴史の醸成と継承であり、社会科見学を誘致したいということは後者に該当するかと思えます。ですが、現在の社会科見学は、見学施設なのか、体験学習ができるのか等と種類があり、後者だった場合には、駐車場だけではなく、体験学習のコンテンツを整備する必要があります。</p>

	<p>す。</p>
<p>事務局</p>	<p>2階にある歴史展示室を学芸員がついて案内したり、大凧展示室では制作工程のミニチュアがあったりと、見学は可能ですが、体験学習については十分な検討ができておりません。駐車場が完成し、社会科見学のコンテンツが不足しないように検討します。</p>
<p>事務局</p>	<p>見学施設としての課題ですが、本来であれば凧文化の発信地として大凧や小凧を掲示したいところですが、凧が大きいため展示が難しい状況です。</p> <p>また、体験についてですが、現在行っている体験としては、凧作りや凧あげ体験の実施、また、文化財課では縄文土器の作成を行ってます。</p> <p>さらなる体験学習の検討状況ですが、学校の雰囲気味わいながら給食を食べる体験を検討した経緯がございます。ですが、教育委員会と調整したところ、衛生管理の都合上、難しいと伺っているところです。また、他市においては、観光ツアーとして外国人観光客に制服等を着用していただき、日本の学校を体験するなどの事例もあります。また、一般的なサイズの凧あげ体験にとどまらず、2～3mの凧や9mの凧等もあげられるような体験も視野に入れて、検討を進めております。</p>
<p>委員</p>	<p>社会科見学と観光ツアーはお客様の層が別物です。小学校1年生～6年生まで、それぞれの教育課程に沿って行く場所が決まりますが、何年生を対象にするのか、何を体験するかは教育委員会に伺えばよいと思います。学校は前例踏襲する傾向にありますので、行先を変更するのは大変かと思います。まずは教育委員会に聞きながら地元の小学生に来ていただき、次に近隣住民や市内住民に来てもらって徐々に増えていくかと思います。</p> <p>観光ツアーはニーズが多様化しているので、一概に正解はありません。</p>
<p>委員</p>	<p>大凧文化交流センターを見学する際の所要時間はどのくらいでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>約1時間程度です。2階の大凧文化展示室では制作工程を示すミニチュアの模型や、床面には実際の大凧のサイズのラッピング、展示室の奥にはトリックアートがあり、階段の壁面には世界各地の凧の実物展示があり、所要時間30分程度で見学可能です。</p> <p>歴史展示室は1階に1部屋、2階に3部屋あり、説明パネルを読みながら進むと、30分程度要します。大凧文化展示室で30</p>

	<p>分、歴史展示室で30分、合計で1時間程度の滞在時間です。</p>
委員	<p>観光バスが来るようであれば、飲食以外でも物販等のコンテンツを増やして楽しめる要素が加わると思います。</p> <p>現在、大型バスは駐車できないかと思いますが、どちらに停めていますか。</p>
事務局	<p>大凧文化交流センター敷地内ではなく、大凧会館の跡地を整備した大凧公園に駐車していただき、そこから徒歩で来ていただきます。</p>
委員	<p>社会科見学について実績の中で話がありましたが、7件の申請があがっているという状況でよろしいですか。</p>
事務局	<p>現時点で、小学校から社会科見学の相談が大凧文化交流センターに7件来ている状況です。教育委員会に確認したところ、6月頃に年間のスケジュールの大枠が決められると伺っており、この時期になるとこれ以上増えることはないかと思います。</p>
委員	<p>先程他の委員からも話がありましたが、前例を変えることは難しく、コンテンツに関しても検討の余地があり、はっきりとした形が見えていないような印象を受けましたので、社会科見学の誘致に取り組んでください。</p>
議長	<p>他にご意見がある方はいらっしゃいますか。</p> <p>意見がないようですので、議題（3）の議事につきましては終了とさせていただきます。</p>
議長	<p><b>【6 その他】</b></p> <p>続きまして、議題（6）「その他」ですが、何かご意見、連絡事項はございますか。</p>
事務局	<p>事務局より、参考資料「春日部市の観光客数について」を説明させていただきます。</p> <p>《参考資料 春日部市の観光客数についての説明》</p>
議長	<p>ただいまご説明いただきました内容について、ご意見がある方はいらっしゃいますか。</p>

委員	<p>令和6年度の外国人観光客数が増加していますが、日本人があまり増えてはいないように見えます。実際はどうかのでしょうか。</p>
事務局	<p>日本人も令和5年度から令和6年度にかけて500人ほど増加しています。ですが、外国人の占める割合が令和5年度は30.3%だったのに対し、令和6年度は56.3%にまで上がっているという状況です。</p>
委員	<p>日本各地でオーバーツーリズムが問題となっており、外国人が増えて日本人がその場所に観光に行けなくなるということがあります。春日部市は該当していないかと思いますが、京都等は日本人が行きたがらない観光地になっています。春日部市はまだ余力がありますが、日本人が増えていないという現状が少々気になりました。</p>
事務局	<p>外国人と日本人の観光客数が共に伸びていくような施策が重要だと認識しています。</p>
議長	<p>他にないようですので、以上を持ちまして、本日予定しておりました議題は、皆様のご協力により終了いたしました。ありがとうございました。</p> <p>市におかれましては、本日の審議を踏まえ、今後におきましても、観光協会をはじめとした関係機関などと連携を図り、より一層、観光の振興を推進していただくようお願いいたします。それでは、進行を事務局にお返しいたします。</p> <p><b>【9 閉会】</b></p>
<p>議事の顛末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>令和7年8月21日</p> <p>署名者の職・氏名                      会長 小沢 智樹</p>	